

中国、上海市の狂犬病発生状況

2011年9月9日 ProMED 情報(China Daily)



中国、上海市では、今年8月までに、狂犬病により6名が死亡しました。昨年同期の死亡患者はわずか1名でした。9月8日、上海市疾病対策センターは市民に対して狂犬病に対する注意喚起のため通知を出しました。イヌに咬まれて病院で治療を受けた患者は、上半期で昨年同期より40%以上増加し、約40,000名が治療を受けました。

イヌに咬まれるのは多くは郊外で、野犬や未登録のイヌでした。また、患者の85%は、上海市に住民票を登録していない人達でした。

上海市は、5月にペットの登録料を60%に減額しましたが、郊外では貧しい住民が多く、イヌは放し飼いされており、イヌの登録や予防接種はほとんど実施されていません。

現地の医師は、イヌに咬まれたらできるだけ早くワクチンの曝露後接種をして治療するよう呼びかけています。